

## 厚生文教委員会

委員長 上田 栄一

◆住宅用太陽光発電システム設置費補助金について

**問** 交付状況について

**答** この制度は、1キロワット当たり4万円で4キロワットを上限とし、1回当りの補助金額の上限は16万円となっています。今年度は、75件、1,200万円の交付を見込んでおりましたが、11月末時点で申請が交付見込みに達する状況であるため、さらに15件分の追加補正をお願いするものです。

**問** 交付件数の拡大や補助単価の引き上げについて

**答** 国が定める住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金を受けられた方に対して、市が上乘せし補助をしているところですが、国においてこの制度が今年度末で終了予定となっているため、今後、市が単独で継続するならば、交付件数や補助単価の見直しを検討する必要があります。

◆請願第2号「介護職員の処遇改善を求める請願書」について

**意見1** 介護職員は、過酷な労働環境のもと、安定した収入が得られない中で離職者が多い現状にある。介護職員の人材確保を図り高齢者の介護環境を充実させるためには採択すべきである。

**意見2** 今後の介護職員処遇改善に係る対応については、現在、社会保障審議会介護保険部会において議論されているところであるが、情報が乏しいことからその動向を注視する必要がある。継続審査とすべきである。

**審査結果** 継続審査

◆請願第3号「安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願書」について

**審査結果** 不採択

◆請願第6号「特例水準の解消」の名による年金削減の中止を求める請願」について

**審査結果** 不採択

## 産業建設委員会

委員長 榎田 和美

◆自給飼料生産体制緊急整備事業費補助金について

**問** 飼料の購入価格について

**答** 飼料には、粗飼料と配合飼料とがあり、粗飼料の価格については、牧草の輸入価格が平成24年以降上昇し、1トンあたり4万2,000円近くになっています。一方配合飼料の価格については畜種により多少の違いはありますが、平

成12年頃から徐々に上昇し、ブロイラー用の配合飼料価格は1トンあたり7万4,000円程度になっています。

**問** 自給飼料にした場合のメリットについて

**答** 現在、飼料米の作付けを8ヘクタールの水田で実施する予定としており、約72・6トンの自給飼料ができる見込みとなっています。これを、輸入飼料に換算すると、年間で約160万円の経費削減が見込まれることから今後は、20ヘクタールまで拡大していく計

画です。

◆請願第1号「TPP交渉からの撤退を求める請願書」について

**意見1** 政府は、重要5品目の関税撤廃は認めないなど、譲れないものは譲れないと、強い意志で交渉されており、大きな問題はないと思われる。TPP交渉に参加している以上、国益になるよう交渉を加速すべきであり、現時点において撤退を求める願意には賛同できない。

**審査結果** 不採択

## 常任委員会管内視察



▼総務企画委員会  
防災事業関連  
(防災センター)



▼厚生文教委員会  
体育館耐震化事業  
(大洲東中学校)



▼産業建設委員会  
大和橋・上老松地区整備事業  
(長浜町上老松)